

様式第2号（政務活動実施報告書）

2024年6月12日

井原市議会議長

三宅文雄様

井原市議会議員 西村 慎次郎

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	令和6年5月30日 13:00～18:10 令和6年5月31日 10:00～15:05
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	第16回日本自治創造学会 研究大会 ・個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	別紙①のとおり
5. 活動内容	別紙①のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



別紙①

【研修概要】

<5月30日（木）>

1. 地方自治体の目指す道

講演者：吉川 洋 氏（東京大学名誉教授・財務省財務総合政策研究所名誉所長）

○少子高齢化、人口と経済成長

○日本経済の長期停滞、後退するイノベーション

○日本経済の構造問題、消費の停滞

○財政赤字のリスク

- ・個人の消費成長率が日本は0.0%
- ・消費が弱い
- ・合計特殊出生率が2.0でもまだ減り続ける
- ・現状1.2で将来的には1になる。
- ・地球規模では人口が増えており多すぎると言われている
- 1位：インド、2位：中国・・・アジアが多い
- ・ドイツにGDPを抜かれた。問題は1人あたりのGDP（ドイツの3分の2）
- ・イノベーションはミクロ。ひらめき・アイデアは草の根にある。
- ・それぞれの個別の問題、地域の問題について一番知っている人はその地域の人
- ・草の根（イノベーション）の元は、地域にある。

2. 個性ある自治体づくり

講演者：牛山 久仁彦 氏（明治大学政治経済学部教授）

○自治体の「消滅」再び

896自治体（前回）⇒744自治体（今回） 239脱却 99自治体追加

○人口減少・少子高齢化の「衝撃」と激甚災害の「追い打ち」

- ・小規模自治体の大都市の厳しさ
- ・激甚災害への対応と自治の「格差」

○「個性ある自治体」をつくるということ

- ・地方分権と自治体の個性
- ・計画行政と自治体の個性
- ・個性ある政策を創造する

○自治体議会の置かれている状況

- ・自治体議会に個性はあるか
- ・地域の実情に見合った議会の実現と個性ある自治体づくり

- ・自治体議会各派進んだか

⇒議会基本条例の個性？

地域の実情に見合った議会運営

- ・自治体議会をめぐる議論の動向

首長との関係、政策形成のあり方

議会機能をめぐる論点

○開かれた議会

- ・「成果」と「成果の過程」が市民から見えている状態が開かれた議会である

3. 「政策議会」の理論と実践

～人口減少。少子高齢化と激甚災害の時代の地域社会を考える～

講演者：土山 希美枝 氏（法政大学法学部教授）

○なぜ「政策議会」か

○政策議会の「成果」と「過程」

○政策議会の実践

○自治の気候としての議会

4. 新たな地方議会の創造 “議会からの発信” 「住民自治に根幹：としての議会の作動

講演者：江藤 俊昭 氏（大正大学地域創生学部教授）

○議会改革の到達点を読む：現場と理論の弁証法

○議会改革の到達点：「住民自治の根幹」としての議会の作動：議会改革の本史への突入」

○議会からの政策サイクルの充実課題

○「個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する」新たな議会もう一步

5. 賢く収縮するまちづくり

講演者：青野 高陽 氏（岡山県美咲町長）

○美咲町について

○行政改革の取組、中山間地域特有の課題

○小規模多機能自治の展開

<5月31日（金）>

6. デジタル導入の価値を考える

講演者：河野 太郎 氏（デジタル大臣。衆議院議員）

7. 今求められる子どもの自殺予防

講演者：新井 肇 氏（関西外国大学外国語学部教授・文科省いじめ防止対策協議会
座長）

- 児童生徒の自殺の現状と背景
- 児童生徒の自殺の特徴
- 自殺のリスクの高い児童生徒の背景要因
- 自殺予防の3段階（Prevention, Intervention, Postvention）
- 自殺予防教育の進め方
 - ・安心・安全な学校環境づくり
 - ・下地づくりの授業
 - ・核となる授業～心の危機理解と援助希求～
- 自殺の危険の高まった児童生徒への気づきと関わり
- 「チーム学校」で進める自殺予防
- 自殺が起きてしまったときの心のケア

8. 地方自治体と防災DX～令和6年度能登半島地震を踏まえ～

講演者：臼田 裕一郎 氏（国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災センタ
ー長）

- 防災DXに関する国の動向
 - ・デジタル制作に見る防災、防災政策に見るデジタル
- 令和6年能登半島地震に見る防災DXの必要性和可能性
 - ・現地における実践を通じて
- 防災DXの展望
 - ・公助・民間・学術が目指す防災DXの方向性

9. 「都市の正義」が地方を壊す～地域からの少子化論へ～

講演者：山下 祐介 氏（東京都立大学人文社会学部教授）

- 地方消滅から地方創生へ～10年目の検証～
- 過剰都市化がもたらす少子化と病理
- 国家不均衡の招待～循環を取り戻す
- 日本再生への手がかりはどこに

【所感】

9つの講演をうかがった。多くの話題は、人口減少・少子高齢化・消滅可能性都市につながる話だった。子育て支援の充実だけでは少子化の歯止めが効かない。20代30代の女性への対策が今後さらに必要になってくる。妙案はないようであるが、できることを一つずつしていく必要がある。すぐに効果はでないと思うが、地道な努力が必要。

その他、デジタル化に関する講演を河野デジタル大臣よりうかがった。デジタル庁においては、さまざまな補助金制度や支援体制、受入体制を整備されており、このあたりをうまく活用してDXの推進を図っていけばよいと感じた。2番手では、その補助金などももらえないと思うので、新しい発想で、1番手でやってみるというチャレンジ精神が必要と思う。

以上